

「理想の信徒アキラとプリスカ」

(アクラ)

ローマ 16:3~5 p323

使徒 18 章 p272

A.D 49年ローマ皇帝クラウディウスは「ユダヤ人追放令」を発令した。

これはローマのユダヤ人社会で熱心に行われるようになったクリスチャンの集会や伝道などに脅威を感じた皇帝の施策である。このことにより、ローマからギリシャのコリントの町に逃げてきた人々の中に、小アジアのポント出身のユダヤ人、アキラ(アクラ)とプリスカ夫婦がいた。

妻プリスカ(大昔の意味)の名はローマ式で特に貴族間によくみられる名前であることから、ローマ貴族出身者であったと思われる。夫のアキラ(アクラ)は信仰は篤いが、名も無いユダヤ人であった。彼らは教会で知り合い結婚したようだが、その結果プリスカはローマの市民権を失い、ユダヤ人として国外追放されることになり、ギリシャに逃げて来ていたのである。

時を同じくして、コリントに来た使徒パウロ。彼はアテネでの伝道に疲れて弱っていた。

この二人と出会うことにより、パウロは助けられ、また立ち上がることが出来たのである。

当時、初代教会には教会堂はなかった。裕福な信者が家を開放し、そこが人々の集まる教会として用いられるようになったのである。アキラ夫妻もまた、行く先々で家を開放し、集会を開き、時間と財力と能力のすべてを献げて伝道者を助け、謙遜に主に仕え、平信徒伝道者としての重要な役割をみごとに果たしたのである。

聖書には、妻のプリスカの名前が夫アクラの名前より先に書かれている。これは彼女の暖かさ、愛の深さ、群を抜く信仰の深さが関係していると思われる。後に彼女はプリスキラ(小さい)と改名している。

[聖書の学び]

I、パウロを支えるアクラ夫妻 (使徒18:1~19 p272)

①パウロはどのような状況で、彼らと出会ったのでしょうか。(使徒18:1)

②アテネで成果が上がらず(使徒17:32,33) コリントに来た使徒パウロは弱っていました。(参 I コリント2:3)

③使徒パウロはアキラ夫妻と、どのように伝道したのでしょうか。(使徒18:4,5)

2、パウロの1年半の伝道により、コリントの異邦人たちからも信じる者が与えられました。

①反対するユダヤ人たちが激しくい迫害してきた時、アキラ夫妻はどうしましたか。

(ローマ16:3,4 p268, 使徒18:18)

②アキラ夫妻はどこに行きましたか。(使徒18:19)

3、彼らはエペソで、パウロの伝道をどのようにして引き継ぎましたか。(I コリント16:19 p353)

〈考えて見ましょう〉 アキラ夫妻はパウロと出会って深く学び、幅広い働きをしました。

その原動力は何だと思えますか。

Ⅱ、 アポロを支えるアクラ夫妻 (使徒18:24~26)

1、 伝道者アポロの足りなさが判ったアクラ夫妻。

①アポロはどんな人でしたか。(使徒18:25)

②アポロは何をエペソの人々に伝えていましたか。(使徒18:25,19:1~7)

③アキラ夫妻は皆が帰った集会後どうしましたか。(使徒18:26)

2、 アキラ夫妻が以前住んでいたコリントはアカイヤの州都です。「アカイヤで伝道したい」と思いが起こされたアポロは、知らない町ですぐに伝道を開始することができました。なぜでしょうか。 どんなことが想像できますか。(使徒18:27)

Ⅲ、 教会の人々を支えるアクラ夫妻 (ロ-マ16:3~5)

1、 使徒パウロから「同労者」と呼ばれた彼らは、実際にどんなことをしたのでしょうか。

(ロ-マ16:4 p267)

2、 パウロはアキラ夫妻のいるエペソに、若い伝道者テモテを遣わしました。

パウロにはどのような思いがあったのでしょうか。考えて見ましょう。

(Ⅱテモテ 4:19 p430)

* **ディスカッション** (心を開いて話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。